



MPEG - 1 / 2 対応 動画ファイル変換ソフトウェア

honestech

MPEG Encoder 4.0

(オネステック・エムペグ・エンコーダー バージョン 4.0)

ユーザーズマニュアル

User's Manual

Rev. 1.0/2002 年 8 月

ソフトウェア保証規定（使用許諾書）

本書は、お客様が本製品（プログラム・マニュアル・その他本製品添付資料を含み、以下「許諾プログラム」といいます）の使用者であることを証明し、かつ弊社との使用許諾契約書に同意いただいた証明として大切に保管して下さい。

1. 許諾プログラムは、お客様ご自身が所有する単一のコンピュータシステムにおいて、これに読み込み可能な形式にてご使用下さい。
2. 許諾プログラムの複写・複製を禁止いたします。
3. 弊社の事前の文書による承諾なくして、第三者に許諾プログラムの貸与もしくはその他の方法で使用させないものとします。
4. 弊社の事前の文書による承諾なくして、許諾プログラムの変更または改造を行なわないものとします。
5. 許諾プログラムをレンタルなどの賃貸業に使用できません。
6. 許諾プログラムの使用に起因して、お客様が被る直接ならびに間接損害に関して、弊社はいかなる責任も負いません。
7. お客様が前記各条項を守っている限り、弊社は許諾プログラムに対し次のサービスをいたします。
 - 1) お客様からの電話または文書によるお問い合わせに対してサポートいたします。
 - 2) 許諾プログラムの媒体（フロッピーディスクなど）の破損事故を起こしたとき、有償で同一の新しい媒体を再提供いたします。
8. 上記 1 から 6 のいずれかの条項に違反する行為があったとき、著作権法等関連法令による法律上の制裁をうけることがあります。

ご注意

- 本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしておりますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
- 本ソフトウェアおよび本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。

本書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載、または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

警告：他者の著作物や録音・録画物を、私的な目的以外で著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定等により禁止されています。また私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作物や録音物の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに配信が可能な状態にすることは一切禁止されております。株式会社ノバックでは、この製品が上記注意事項を遵守されずに使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

もくじ

第 1 章 honestech MPEG Encoder について	4
1.1 特徴.....	4
1.2 動作環境.....	4
1.3 インストール手順	5
第 2 章 honestech MPEG Encoder の使い方	7
2.1 ウィンドウ構成.....	7
2.2 AVI-MPEG 変換の手順.....	8
2.3 変換したファイルの表示.....	10
2.4 変換オプションの解説	11
第 3 章 仕様.....	16
第 4 章 Q & A	17
ユーザーサポートについて.....	19

第 1 章 honestech MPEG Encoder について

honestech MPEG Encoder(オネステック・エムペグ・エンコーダー)は、AVI ファイルをはじめとする各種のビデオファイルから、MPEG-1 または MPEG-2 ファイルへの変換(動画圧縮)を行うソフトウェアです。

MPEG ファイルは、DVD-Video ディスクやビデオ CD の制作に欠かせないファイル形式です。また、動画圧縮により既存の AVI ファイルよりも一般に小さなファイルサイズになりますので、保存用にも最適な形式です。

1.1 特徴

honestech MPEG Encoder は、次のような特徴を備えた**オフライン**(間接変換=すでにあるビデオファイルを MPEG ファイルに変換すること) **MPEG エンコーダ**です。

- 複数ファイルの連続変換に便利なバッチエンコード機能
プロジェクトファイルを作成したり、ウィザードプログラムなどを用いたりすることなく、複数の AVI ファイルを連続して MPEG ファイルに変換できます。もちろん、それぞれの AVI ファイルに対して別々の変換設定が可能です。
- 群を抜く高速変換とすぐれた画質
DV-AVI ファイルから DVD-Video 互換 MPEG-2 ファイルに再生時間の 4 倍程度の時間、320×240 ドットの AVI ファイルからビデオ CD 互換 MPEG-1 ファイルに再生時間の 1.5 倍程度の時間で変換可能(いずれも[ビデオ品質]=[標準]設定、Pentium III 1GHz のパソコンでの実測値)。しかも、元の AVI ファイルの画質を可能な限り維持しながら変換します。
- MPEG ファイルの再変換や Windows Media Video にも対応
既存の MPEG-1/2 ファイルを、目的に応じて別のプロファイルを持つ MPEG-1/2 ファイルの変換が可能。たとえば DVD-Video 用の MPEG-2 ファイルからビデオ CD(VCD)用の MPEG-1 ファイルへの変換もできます。
さらに、Windows Media Video (拡張子*.asf または*.wmv) からも MPEG-1/2 ファイルへの変換が可能です。
- オーサリング/ライティングソフトとの高い互換性
本製品で作成された DVD-Video 互換 MPEG-2 ファイルは、DVD オーサリングソフト「DVD Craft(当社製品)」や「DVD it!」「Ulead DVD Movie Writer」において、再変換なしで受け入れ可能であることを確認済み。また、ビデオ CD/SVCD(Super VideoCD)互換 MPEG ファイルは、ビデオ CD や SVCD に対応した CD ライティングソフトの大半で、各々の CD 形式に書き込み可能です。

1.2 動作環境

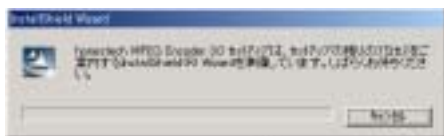
honestech MPEG Encoder をお使いのコンピュータにインストールするには、お使いのコンピュータが少なくとも下記のような仕様を備えていることが前提となります。

- ⇒ 166MHz またはそれ以上のクロック周波数を持ち、MMX 命令に対応した CPU (Intel Pentium II 400MHz または同等性能以上の互換 CPU 推奨)
- ⇒ Microsoft® Windows 98(SE 推奨) / Me / 2000 / XP
- ⇒ インストール用として、少なくとも 7 MB 以上のハードディスク空き容量 (動画ファイルの保存用ディスク空間は別途必要)

1.3 インストール手順



1. ダウンロードしたファイルのあるフォルダを Windows エクスプローラなどで開き、ダブルクリックして起動してください。



2. 右のような画像が画面上に現れ、honestech MPEG Encoder のインストールが開始されます。



3. 左のようなウィンドウが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4. 右のように使用許諾書が表示されたら、お読みになってから[はい(Y)]をクリックしてください。



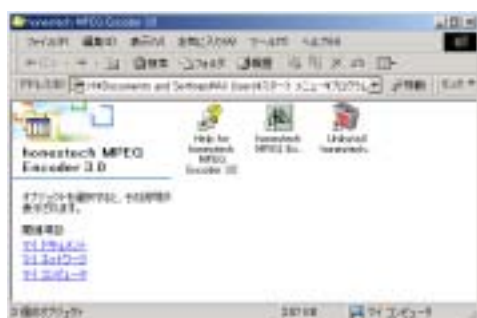
5. honestech MPEG Encoder をインストールするフォルダを選択してください。インストールするフォルダは、プログラムによって定義されているフォルダをそのまま選択されることをお勧めします。別のフォルダにインストールするには、[選択...]ボタンをクリックし、目的の場所を選択してから[次へ>]をクリックしてください。



6. スタートメニューに表示されるフォルダの名前を指定した後、ファイルのコピーを開始するには[次へ>]ボタンをクリックしてください。

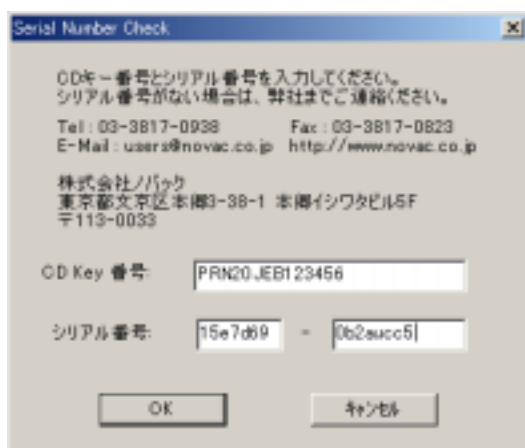


7. ファイルがすべてコピーされ終わると、下のようにインストールが終了したことを知らせるダイアログボックスが表示されます。インストールを完了するには[終了]ボタンをクリックしてください。



8. 以上で honestech MPEG Encoder を使うための準備が整いました。プログラムは[スタート]メニュー – [プログラム] – [honestech] – [honestech MPEG Encoder 4.0] の下に登録されます。

アンインストールを行うには、[スタート]メニュー – [プログラム] – [honestech] – [honestech MPEG Encoder 4.0] – [Uninstall honestech MPEG Encoder 4.0] を実行してください。



9. 最初の起動時に CD Key およびシリアル番号の入力を求めるメッセージが表示されます。お手持ちの honestech MPEG Encoder 用シリアル番号を入力してください。

第2章 honestech MPEG Encoder の使い方

ここでは、honestech MPEG Encoder の使い方をご紹介します。

2.1 ウィンドウ構成



- 1) [追加]ボタン：変換したいファイルを編集ウィンドウに追加します。
(* ドラッグ&ドロップに対応しており、簡単にファイルを追加できます)
- 2) [削除]ボタン：編集ウィンドウから、選択された作業を削除します。
- 3) [編集]ボタン：出力(MPEG) ファイルのデータレートを決定します。
- 4) [エンコード]ボタン：“待機中” 状態の変換元ファイルを MPEG ファイルに変換します。
- 5) [ヘルプ]ボタン：honestech MPEG Encoder のヘルプファイルを表示します。
- 6) [最大化/元のサイズに戻す]ボタン：honestech MPEG Encoder を画面いっぱいに表示します。もう一度クリックすると、元のサイズに戻ります。
- 7) [最小化]ボタン：honestech MPEG Encoder をタスクバー上に最小化します。タスクバーにある honestech MPEG Encoder の名前をクリックすると、元のサイズに戻ります。
- 8) [カラー]ボタン：GUI(ウィンドウ)画面の色を変更します。
- 9) Exit ボタン：honestech MPEG Encoder を終了します。
- 10) 編集ウィンドウ：AVI ファイル名、状態などを表示します。
名前：変換元(入力)AVI ファイル名
状態：作業状態を表し、マウスでダブルクリックすると状態が変わります。
- 待機中：変換作業を待機中の状態
- スキップ：変換しない(変換を省略する)設定状態

- 変換済み：変換作業が完了した状態

ビデオ：画面サイズ、動画形式 オーディオ：音声 形式

Fps：変換元ファイルのフレームレート

サイズ：変換元ファイルのサイズ

長さ：変換元 ファイルの 再生時間

パス：出力 ファイルの保存先パス名

11) テキストウィンドウ：詳細な変換作業情報をテキスト表示します。

12) 表示ウィンドウ：変換作業中に変換元ファイルを再生します。

13) [変換元]ボタン：変換元のファイルを再生します。

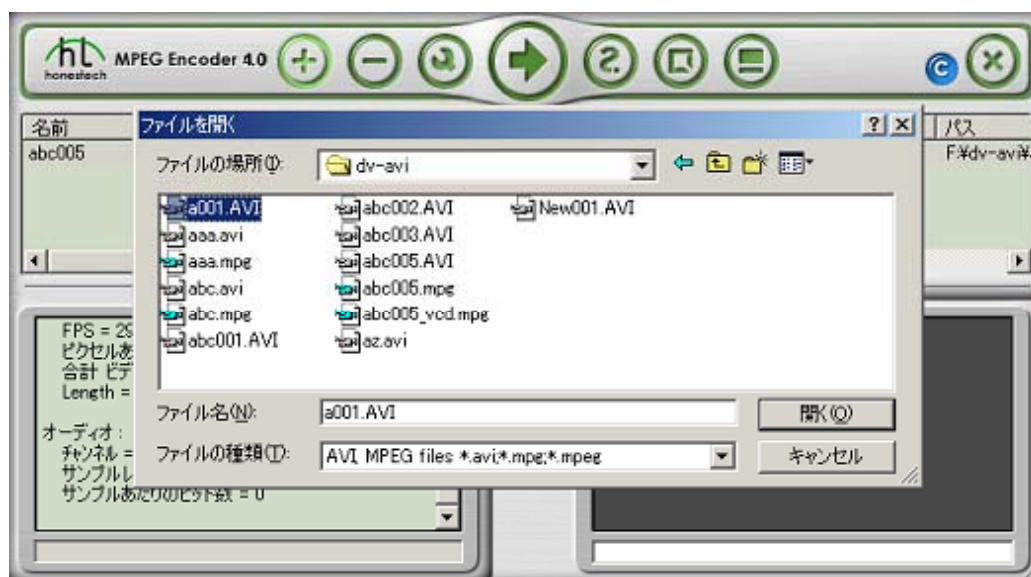
14) [変換先]ボタン：変換後のファイルを再生します。

2.2 MPEG 変換の手順

honestech MPEG Encoder はバッチエンコード(複数ファイルの一括変換)機能を提供し、ビデオファイルを MPEG 形式に変換する作業をより手軽に行えます。下のような手順により、最良の変換結果を得ることができます。

本製品をお使いになるには、AVI、WMV、ASF、DivX または MPEG ファイルが必要です。既に作成済みの AVI ファイルがハードディスク上にあるか、弊社製品 PrimeTV/Si、CATCH TV などのビデオキャプチャカードと、キャプチャプログラム(LifeView Studio、honestech MPEG DVR など)を用いて AVI ファイルを作成し、ご用意いただく必要があります。

1. **[追加]** ボタンをクリックすると、下の 画面のようなウィンドウが現れます。変換したいファイルを選択した後、**[開く]** ボタンをクリックしてください。



(* または**ドラッグ&ドロップ**機能を用いて AVI ファイルを 直接 MPEG Encoder にドラッグすることにより、手軽に作業を開始できます。)

2. すると**オプション** ダイアログボックスが現れます。このウィンドウから出力ファイルのファイル名と保存パス名を設定し、MPEG-1 と MPEG-2 変換方式のうちひとつを選択します。また ビデオ/オーディオ ビットレートと圧縮方法、そしてビデオフレームレートなどを設定できます。

変換オプションの内容については、**2.4 章**を参照してください。

3. 目的のオプションを選択してウィンドウを閉じると、下の画面のような作業リストが現れます。作業リストの上端部分の“状態”項目を見ると、“待機中”状態であることがわかるでしょう。この状態はその行の AVI ファイルがエンコード(圧縮)可能な状態であることを表します。



バッチエンコード(複数のファイルを一括して変換する操作)を行うには、上記の1~3の手順を繰り返して実行し、複数のファイルに対してそれぞれ設定を行ってください。

4. 続いて **[エンコード]** ボタンをクリックすると、エンコード作業が開始されます。次の画面はエンコード作業中の画面です。



5. エンコード作業が正常に終了すると、作業状態が“変換済み”に変わります。もし出力結果を削除したり、他のオプションによるエンコードを行うには、作業状態を再び "待機中" 状態に設定し、(作業状態を変更するには、作業状態表示部をクリックします。) 再び **[エンコード]** ボタンを押します。

2.3 変換したファイルの表示



変換元ファイルや変換先ファイルを、確認のために再生することができます。

再生にはそれぞれのファイルの拡張子に関連づけられたプレイヤーソフトが用いられます。

1. 変換する前のファイル(変換元ファイル)を見るには、[変換元] 再生ボタン (1) をクリックしてください。
2. 変換後の出力ファイルを見るには、[変換先]再生ボタン (2) をクリックしてください。

2.4 変換オプションの解説

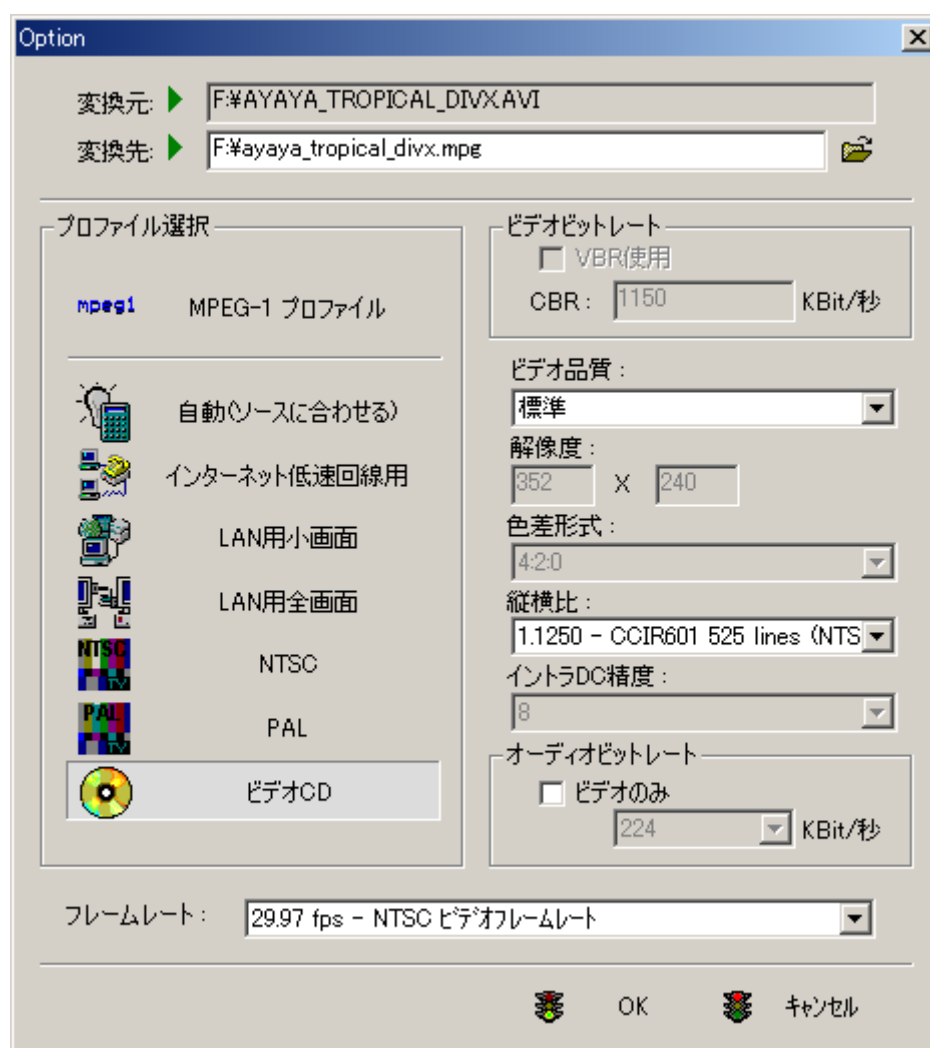
honestech MPEG Encoder の[編集]ボタンからは、動画ファイルの変換について、さまざまな変換プロファイル(オプション)が指定可能です。

これらは用途や目的に応じて使い分けてください。なお、それぞれのプロファイルによっては、VBR(可変ビットレート)を含めた、より細かなオプションを利用することもできます。

MPEG-1 方式の下位プロファイル

MPEG-1 方式の場合、「ビデオ CD」以外の設定では、解像度(表示サイズ)は元のファイルの解像度に設定されます。表示サイズの大きな AVI ファイルからよりよい画質を得るには、「解像度」欄に縦(左)・横(右)の小さな数値を手動で入力し、表示サイズが小さくなるように設定してください。

たとえば 640×480 の動画ファイルをストリーミング配信の可能なファイル(ビデオビットレート 1000kbit/秒以下)に変換するには、320×240 ドットや 160×120 ドットに設定することをお勧めします。



1) 自動 (ソースに合わせる) [初期値] :

選択されたファイルに最適なビットレートやビデオフレームレートを、自動的に設定します。

2) インターネット低速回線用 :

かなり低いビデオビットレート(初期値 250kbit/秒)と、AM ラジオ水準の音質を持つ MPEG-1 ファイルを生成します。初期値は低速インターネットでもストリーミングが可能なビットレートに設定されます。

3) LAN 用小画面 :

低いビデオビットレート(初期値 335kbit/秒)と AM ラジオ水準の音質を持つ MPEG-1 ファイルを生成します。初期値は社内 LAN 程度の速度の回線でのストリーミングに対応します。

4) LAN 用全画面 :

全画面 MPEG 動画と FM ラジオ水準の音質を持つ MPEG-1 ファイル(ビデオビットレート初期値 480kbit/秒)を生成します。社内 LAN 程度の速度に対応します。

5) NTSC:

全画面 MPEG 動画と CD 水準の音質を持ち、カラーテレビ放送の日本・米国(NTSC)標準方式に対応する MPEG-1 ファイル(ビデオビットレート初期値 1098kbit/秒)を生成します。

6) PAL:

全画面 MPEG 動画と CD 水準の音質を持ち、カラーテレビ放送のヨーロッパ(PAL)標準方式に対応する MPEG-1 ファイル(ビデオビットレート初期値 1098kbit/秒)を生成します。

7) ビデオ CD:

全画面ビデオ CD 用 MPEG 動画と CD 水準の音質を持ち、ビデオ CD 対応 CD ライティングソフトを用いてビデオ CD として制作可能な MPEG-1 ファイル(解像度 352×240 または 352×288 ドット、ビデオビットレートは 1150kbit/秒固定)を生成します。

ビデオ CD オプションを選択した場合、「ビデオ品質」と「縦横比」「フレームレート」以外の諸設定を変更することはできなくなります。この設定で出力されるビデオ CD 用の MPEG-1 では、互換性維持のためにビットレートや解像度が決まっているためです。

解像度はフレームレートの設定変更によって自動的に調整されます。日本国内で使用するためのビデオ CD(NTSC 方式用、解像度 352×240 ドット)を作成するには、フレームレートは既定値の 29.97fps のまま変換を行ってください。

MPEG-2 方式の下位プロファイル

MPEG-2 方式の場合、「MP@ML (DVD)」「MP@ML (SVCD)」以外の設定では、解像度(表示サイズ)は元のファイルの解像度に設定されます。必要に応じて「解像度」欄に縦(左)・横(右)の数値を手動で入力し、表示サイズが小さくなるように設定してください。



1) High Profile @ High Level

最大ビットレート: 100Mbit/秒, 60 フレーム/秒

2) High Profile @ High 1440

最大ビットレート: 80Mbit/秒, 60 フレーム/秒

3) High Profile @ Main Level

最大ビットレート: 20Mbit/秒, 4.0 フレーム/秒

4) Main Profile @ High Level

最大ビットレート: 100Mbit/秒, 4.0 フレーム/秒

5) Main Profile @ High 1440

最大ビットレート: 100Mbit/秒, 4.0 フレーム/秒

6) Main Profile @ Main Level (DVD 用)

ビットレート既定値: 8Mbit/秒[可変ビットレートにおける最大ビットレート]6Mbit/秒[固定ビットレート])

フレームレート既定値: 29.97 フレーム/秒(NTSC 用)

解像度はフレームレートの設定変更によって自動的に調整されます。日本国内で使用するための DVD-Video ディスク(NTSC 方式用、解像度 720×480 ドット)を作成するには、フレームレートは既定値の 29.97fps のまま変換を行ってください。

ビットレートは意の数値を kbit/秒単位で直接入力することにより変更が可能です(2000 ~ 8000kbit/秒の間でお使いください)。

7) Main Profile @ Low Level

最大ビットレート: 4Mbit/秒, 4.0 フレーム/秒

8) Main Profile @ Main Level (SVCD=Super VideoCD 用)

ビットレート既定値: 2500kbit/秒, 29.97 フレーム/秒(NTSC 用)

フレームレート既定値: 29.97 フレーム/秒(NTSC 用)

SVCD オプションを選択した場合、「ビデオ品質」と「縦横比」「フレームレート」以外の諸設定を変更することはできません。この設定で出力される SVCD 用の MPEG-2 では、互換性維持のためにビットレートや解像度が決まっているためです。

解像度はフレームレートの設定変更によって自動的に調整されます。日本国内で使用するための SVCD(NTSC 方式用、解像度 480×480 ドット)を作成するには、フレームレートは既定値の 29.97fps のまま変換を行ってください。

なお、SVCD ファイルの解像度は 480×480 ドット(NTSC)または 480×576 ドット(PAL)ですが、ファイルの再生は作成時に設定された縦横比情報を参照して行われますので、本製品によって作成された SVCD では、作成時に縦横比設定を変更していない限り、4:3(NTSC の場合は 640×480 ドット相当)表示で再生されます。

ビットレート設定は CBR(固定ビットレート)のみお使いいただけます。

その他のオプション

1) ビデオビットレート: 1 秒当たりのビデオビットレート

選択したプロファイルに応じた値が表示されます。高いビットレートでは高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。プロファイルによっては、CBR(固定ビットレート)のほかに VBR(可変ビットレート)を使用することもできます。また、ビデオ CD/SVCD プロファイルではビットレートの調整はできません。

2) ビデオ品質: 画質/速度優先を選択

変換速度および画質について、「変換速度優先」「標準」「画質優先」と、それぞれに「Deinterlace(インターレース解除)」を加えた計 6 種類のオプションが選択できます。

「変換速度優先」ではほかの2つよりも変換速度が向上しますが、画質はやや劣化することがあります。「画質優先」では変換速度は遅くなりますが、画質向上が期待できます。初期設定は「標準」であり、ほとんどの用途に適合します。

「インターレース解除」とは、変換元のビデオファイルが現行のアナログテレビ放送の方式であるインターレース(飛び越し走査、1枚のフレームを2枚のフィールドで描画)で記録されている場合に、パソコンで一般的な表示方式であるプログレッシブ(1枚のフレームを1枚のフィールドで描画)に変換する機能です。変換したビデオファイルを主にパソコン上で再生する場合、インターレース解除を行うことで、インターレース特有の横線ノイズの少ない画面を得ることができます。DVDやVCD/SVCDを作成する場合は、インターレース解除を行わないほうが、画質が向上する場合があります。

3) 解像度 : 出力される MPEG ファイルの画面解像度

エンコードにより出力される MPEG ファイルの縦・横方向の画面解像度(サイズ)を、任意に指定できます。

基本的には変換元ファイルの画面サイズがそのまま適用されますが、解像度を変更することで元のファイルよりも大きな、または小さな画面の MPEG ファイルを作成することができます。ただし、変換速度は変換元ファイルの画面サイズを適用する場合と比べて、遅くなります。

なお、MPEG-1/ビデオ CD および MPEG-2/SVCD、MPEG-2/DVD 用プロファイルでは、出力画面のサイズは固定されますので、ここでの変更を行うことはできません。

4) 色差形式 : 4:2:0 または 4:2:2

MPEG-2 のハイプロファイルでのみ選択可能なオプションです(DVD、SVCD プロファイルなどでは選択できません)。色差形式は「クロマフォーマット」とも呼ばれます。

MPEG では、イメージデータが輝度成分と色差成分に変換されて符号化されます。この時の輝度成分(Y)と色差成分(Cb, Cr)の比を表したものを色差形式といい、YとCb、Crの比率で表します。4:2:0 とはそれぞれの比率が 4:1:1、4:2:2 は 4:2:2 となります。

5) イントラ DC 精度 : 量子化精度の設定(単位:ビット)

MPEG-2 でのみ選択可能なオプションです。

MPEG-2 では、イントラ符号化ブロックの DC 係数の量子化ビット数として 8、9、10 ビット(ハイプロファイルでは 11 ビットも)が選択できます。ビット数が多くなるほど、量子化の精度が向上しますが、変換には時間を要することになります。

6) オーディオビットレート : 1 秒当たりのオーディオビットレート

選択したプロファイルに応じて最適な値が表示されますが、MPEG-1 ビデオ CD 以外のプロファイルでは、直接目的の値に設定することもできます。

7) フレームレート : 1 秒当たりのフレームレート

選択したプロファイルに応じた値が表示されます。高いビットレートでは高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

第3章 仕様

1. 仕様

- ビデオ圧縮方式：MPEG-1、MPEG-2
- ビデオ入力：圧縮または非圧縮の AVI 形式の動画ファイル
- ビデオビットレート：250 ~ 100,000 kbit/秒(kbit/秒)
- オーディオ圧縮：MPEG-1 Layer II
- オーディオ入力：8 または 16bit、11.025/22.050/32/44.1/48KHz の PCM 音声 (圧縮されていないこと)
- オーディオビットレート：32 - 384 kbit/秒(kbit/秒)

2. 動作環境

- OS: Microsoft Windows 98(含 SE) / Me / 2000 / XP (DirectX 8 以上推奨)
- CPU: MMX 命令をサポートする CPU (Intel Pentium II 400MHz または同等性能以上の互換 CPU 推奨)

3. 対応するビデオファイル

- AVI 1.0 および 2.0 (OpenDML) ファイル

圧縮された映像/音声を含む AVI ファイルを用いる場合は、その映像の再生に必要な CODEC (圧縮/再生用のソフトウェア) が事前にインストールされている必要があります。

YUV 色空間情報を保存するビデオ CODEC (huffyuv など) を用いて作成された AVI ファイルは、正常に変換できない場合があります。RGB 色空間を保存できる設定、または別の RGB 用ビデオ CODEC で再出力してください。huffyuv の場合は「Always suggest RGB format for output」オプションが該当します。

キャプチャ中にドロップフレーム(フレーム落ち)が多数発生した AVI ファイルは、変換中にエラーが出て正常に変換できないことがあります。

- DV フォーマット AVI ファイル (Type 1, Type 2)

一部のビデオ編集ソフトでは DV フォーマットの出力仕様が標準と異なる場合があります、変換元の DV-AVI ファイルの状態によっては、変換が正常にできない(音声がかかるなどの症状が出る)場合があります。このような場合は、そのビデオ編集ソフトで用意されている DV-AVI ファイルの別の出力オプション(Type 1 DV で問題がある場合は Type 2 DV、あるいはその逆)での再出力をお試しください。

Microsoft 製 DV CODEC 以外の DV CODEC を用いて作成されたファイルを変換する場合は、作成作業を行ったパソコン上で変換を行ってください。別のパソコンにファイルを移動して変換作業を行う場合は、その CODEC を用いて作成されたファイルの再生に対応する CODEC を事前にインストールしておいてください。

- Windows Media Video (ASF または WMV の拡張子を持つもの)
- MPEG-1/MPEG-2 ファイル (再変換が可能)

第4章 Q & A

ここでは、honestech MPEG Encoder(以下 MPEG Encoder)に関する代表的な質問と回答をご紹介します。

Q1. AVI ファイルが登録できません。

A. ビデオ編集ソフトの中には、AVI ファイルのフレームレートの情報を不正な値で出力するものが存在します。このようなビデオ編集ソフトから出力された AVI ファイルは、MPEG Encoder には登録できないようになっています。

ほかのビデオ編集ソフト、または同じソフトでもバージョンが更新された新しいもので AVI ファイルを再出力されることをお勧めします。

Q2. AVI ファイルの変換中に、プログラムが停止してしまいます。

A. キャプチャ時にドロップフレーム (フレーム落ち) が数多く発生した AVI ファイルでは、MPEG ファイルへの変換時に映像と音声の同期に失敗する可能性が高く、正常な変換に失敗して MPEG Encoder のプログラムが異常終了することがあります。そのような AVI ファイルに対しては、ビデオ編集ソフトを通して再出力することで、MPEG Encoder での正常な変換が可能になる場合があります。

Q3. AVI ファイルを登録しようとしたら、「CODEC がありません」というメッセージが表示され、登録できませんでした。

A. 変換元の AVI ファイルの作成に、Windows に標準で含まれていないビデオ CODEC (Microsoft MPEG-4 V1/V2/V3、DivX、各種 Motion JPEG、各種参照型ビデオ CODEC などが代表的、以降「**非標準ビデオ CODEC**」と呼びます) が用いられている場合、その AVI ファイルの作成に用いられた非標準ビデオ CODEC もインストールされていないと、MPEG Encoder で取り扱うことはできません。

一般に、その AVI ファイルをキャプチャしたパソコン上で MPEG Encoder を実行するか、あるいはその AVI ファイルを別のパソコンに移しても、そのファイルが Windows 98 以降に標準の Windows Media Player(mplayer2.exe または wmplayer.exe)で再生可能であれば、MPEG Encoder でも取り扱うことが可能です。いずれにも当てはまらない場合、つまり AVI ファイルを別のパソコンに移してそこで Windows Media Player でも再生できない場合は、そのファイルの再生に必要な、非標準ビデオ CODEC のインストールが必要となります。

非標準ビデオ CODEC のインストールと取り扱い方法については、その CODEC を含むビデオキャプチャーカード、ビデオ編集ソフトなどの製品やビデオ CODEC 自体の説明書に記載されている内容を参考にしてください。どの非標準ビデオ CODEC が必要なのかわからない場合は、その AVI ファイルを作成したパソコンに MPEG Encoder をインストールして、変換を実行するのが近道です。

なお、非標準ビデオ CODECの中には、画像情報を YUV 形式 (テレビ、ビデオデッキなど民生用ビデオ機器で用いられる色の表現方法) で保存するものがあり、「huffyuv」が代表的です。そのようなビデオ CODEC の場合、パソコンで用いられる RGB 形式での変換出力機能を有効にしておかないと、MPEG Encoder で正しく取り扱えない場合があります。前述の huffyuv では「Always suggest RGB format for output」をチェックしてからキャプチャ(またはビデオ編集ソフトなどからの AVI ファイル出力)を行うと、RGB への変換出力が有効となり、MPEG

Encoder での MPEG 変換も可能になります。

Q4. SVCD 互換の MPEG-2 ファイルを Windows Media Player で再生したら、正方形の画面で表示されました。このまま SVCD のライティングソフトに渡しても大丈夫ですか？

Q5. SVCD 互換の MPEG-2 ファイルは 480×480 ドットのはずなのに、実際に再生してみたら縦 4:横 3 の比率の画面で再生されました。これって正しいのですか？

A. SVCD は、通常の CD (一般に 650MB ~ 700MB の容量) という限られたファイル容量を持つメディアに対して、できるだけ高画質の映像を長時間収録する目的で、480×480 ドット (NTSC) または 480×576 ドット (PAL) という変則的な縦横比で収録した映像を、再生時に一般的なテレビ受像機用の縦横比 (4:3) に変換するという手法を取っています。

MPEG Encoder に含まれている MPEG-2 ビデオデコーダは、480×480 ドットなどの SVCD ビデオファイルを Windows Media Player などで再生する場合、自動的に縦横比 4:3 に変換して表示するように設定されていますが、他社のビデオ編集ソフトなどに別の MPEG-2 ビデオデコーダが含まれていて、それが有効になっている場合、正方形の画面で表示されることがあります。これは Microsoft 社の提供する DirectShow (Windows においてビデオ/オーディオ/ゲーム関連の基本的な機能をまとめた「DirectX」の一部) の機能に由来する仕様であり、一般的にそのような MPEG-2 ビデオデコーダを含むビデオ編集ソフトがインストールされている場合、アンインストールしない限り、正方形表示のままです。

ただし、いずれの場合もいったん SVCD にライティングしてしまえば、家庭用の SVCD 再生に対応するプレイヤー (主に DVD プレイヤー) や、パソコン上で SVCD 対応のソフトウェアプレイヤー (WinDVD などが知られています) を介して再生する限り、縦横比 4:3 で再生されますので、Windows Media Player で正方形に表示されていても、実際にできあがる SVCD の再生には問題はありません。

ユーザーサポートについて

本製品およびマニュアルに対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 : 〒114.0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷イシワタビル 5F
 株式会社ノバック サポートセンター
 サポート専用電話 : (03) 3817 - 0938
 受付時間 : 月曜～金曜(祝祭日、および弊社休業日は除く)
 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
 e-mail : users@novac.co.jp

- * お問い合わせに先立ち、まずこのマニュアルをもう一度ご覧になってください。また弊社の Web サイト (ホームページ) にアクセスしていただくと、製品の最新情報や FAQ などがご覧いただけますので、ご利用ください。
 株式会社ノバック Web サイト URL: <http://www.novac.co.jp/>
- * お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えてください(下記のお問い合わせ項目表をご参照ください)。
- * 電話がかかりにくい場合は、e-mail でお問い合わせください。
- * e-mail での問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせていただきます。
- * e-mail や電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただければ幸いです。

ユーザーサポートへのお問い合わせにあたっては、次の各項目を事前にご確認いただき、e-mail または電話にてお問い合わせください。

お問い合わせのノバック製品情報	
製品名	honestech MPEG Encoder (オネステック・エムペグ・エンコーダー)
バージョン	4.0
シリアル番号	
ご購入日(だいたいで構いません)	
お客様の情報	
お名前	
ご連絡先	
ご使用環境	
パソコン(またはマザーボード)の メーカー・製品名	
型番	
OS	
CPU	
メモリ容量	
併用しているビデオ関連周辺機器	
併用している AVI CODEC	
お問い合わせの内容(できるだけ詳しく教えてください)	
例えば、どんな操作をして、どんな症状が起こるかなど...	



開発元: Honest Technology Co., Ltd.

発売元: 株式会社ノバック